

# 被覆作物による生産調整水田の省力管理

## 1. ヘアリーベッチによる管理方法

- 1) 種子を10～11月上旬（寒冷地ほど早く）に3kg/10a播種します。
- 2) 湿潤な圃場では、播種前に耕起の必要はありません。
- 3) 土壌が乾燥している場合は、耕起・播種後に表面をロータリー等で浅く攪拌し覆土します。
- 4) 滞水する圃場では排水対策として明渠をつくります。
- 5) 施肥の必要はありません。



☞ 7月になると枯れ始めますが、枯れた植物体が敷きわら状になり、7月の終わりまで雑草を抑制します。また、地力増進効果があります。

## 2. ハルシヤギクによる管理方法

- 1) 種子を4月に0.7kg/10a播種します。
- 2) 播種前に耕起し、播種後に表面をロータリー等で浅く攪拌し覆土します。
- 3) 基肥として窒素成分で2kg/10a程度施用します。
- 4) 2年目以降は3月に耕起すると、前年度の結実種子から発芽します。



☞ 9月に枯れ始めますが、枯死した植物体により、10月の終わりまで雑草を抑制します。また、開花期間が6月下旬から8月中旬と長く景観が楽しめます。